

県議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2016年8月28日 第230号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



平和でこそ楽しめるスポーツへ
感動を覚えつつ不満な点も

いつしか、賑やかなせみの声も消え静かになりました。少し寂しく感じていた時に、最近では陽が落ちると控えめに虫の声が聞こえてきます。涼しげな羽音にほっとしてしまします。日中はまだまだ炎天下が続く、夏の疲れが出てくる頃です。体調管理には充分お気をつけて下さい。

さて、オリンピックや全国高校野球大会も終わりました。選手や関係者のみなさんがそれぞれの目標に向かって、日頃の厳しい練習の積み重ねの成果を競い合う姿に多くの感動を覚ええました。しかし、テレビなどの報道は金メダル獲得競争の場面が中心に映し出され、「日本メダル何個？」というキャスターの報道に不満を感じます。東京オリンピックを機会にも一度国ではなく選手ひとり一人の気持ちを大切にしながら、全世界が平和でこそスポーツを楽しむことができる大会にしなければと思います。多くの宝のメッセージが埋もれています。あらためてスポーツのあり方を考える時だと思いつつ、スポーツ環境をよりよくして行くためにみなさんからもご意見をお待ちしています。

受診抑制・重症化招く
医療・介護の大改悪

奥村議員が当ニュース2228号で触れた、「社会保障解体の工程表」の中で「医療・介護改悪」が日刊「赤旗」22日付で報道。「アベ内閣が参院選が終わったのを受けて社会保障の改悪を一気にこり押しする構え」として「改悪メニユー」を紹介しています。

- ①高齢者への負担増として、75歳以上の窓口負担は倍増の2割に。「特例軽減」は廃止。低所得者保険料は2倍、10倍に急増。介護保険利用料も倍増の2割に。
- ②3割を超える負担への道として、「かかりつけ医」以外の受診は1回100円、数百円を窓口負担とは別に徴収。実質負担は4割にもなる場合があり、健康保険法の規定にも反します。保険が効く薬品はジェネリックに限り、先発医薬品を選ぶと差額が取られます。
- ③保険給付の縮小として、要介護1・2の訪問介護(生活援助)と通所介護の「保険外し」を検討。福祉用具貸与も自己負担とする計画。これでは、保険あつて介護なしです。ビタミン剤など「市販類似薬」も保険給付から外す計画です。
- ④「地域差」をなくすとして、病床削減や患者の絞り込みで退院・在宅復帰を進めるため、一般病床に居住費(水光熱費)負担導入と4月実施の食事代値上げで1カ月5万1千円!になるそうです。受診回数が多い高齢者や持病のある患者は受診抑制で重症化を招きます。こんな解体を年金や障害者福祉など社会保障全般で狙っています。口先と実際は正反対のアベ内閣です。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 8月26日 市駅・吉宗像前宣伝、県議団勉強会
- 27日 生協病院平和夏まつり
- 28日 地域訪問 大門みきし参議のつとめ
- 29日 河西無料生活相談所、社保部会
- 30日 会議、生保裁判、地区産廃会議
- 31日 地域訪問
- 9月 1日 市駅無料生活相談、会議、環境考える会

原水爆禁止世界大会

原水爆禁止2016年世界大会が8月4, 5, 6日と広島で開かれ、党市議団からは松坂美知子議員が参加しました。松坂議員のニュースによると「映像の広場」の分科会に参加し、初めての平和行進を記録した映像を見たと言及があります。広島から東京へたった一人で歩き始めたが途中でだんだん参加者が増えていき東京に着くときには数千人単位の人々の行進になっていたと。延べ人数では100万人が歩いたと。歩きながら沿道の方々にカンパを訴える活動の記録も上映されたそうです。

被爆者の平均年齢が80歳を超えている状況下、当時の方々の熱い思いをしっかりと

和歌山市の「平和バス」最近では最高的人数



原爆ドーム

受け継がなければと改めておもいました。

和歌山市で毎年取り組まれている8月6日の原爆記念式典へ参加する「平和バス」の応募者は、今年116人と最近では最高だそうです。オバマ大統領の広島訪問が要因ではと言われていますが、私は毎年、市民生活課の職員が各支所に直接、平和バスの案内ビラを回覧依頼している努力が実っているのではないかと思います。

今年は80歳の方から小学生2人、高校生1人を含む24人で式典の参加、原爆資料館の見学、被爆者の体験談を聞くことができたそうです。ぜひ、今後も一人でも多くの方が参加できるよう、応募者が増加しているなら定数増を検討すべきだと思います。

お盆休みをいただき家族でプロ野球、阪神 VS 広島戦を観戦。バッターボックスで格好つけているのは誰でしょう。よく見てね。



党市議会議員
南畑さち代



Relay talk

Relay talk

